

住民主体の有償ボランティアが立ち上がるまで

「ちょっとした困りごと」を地域で解決していくために、住民主体の有償ボランティアが立ち上がりました。その過程を紹介させていただきます。

住民主体の有償ボランティア 事例紹介

有屋おたすけ会

～ちょっとした困りごとは地域で解決していこう～

鹿児島県奄美市の有屋町内会では、有償ボランティア立ち上げのために、勉強会や住民アンケート、説明会などを開催し、約3年の月日をかけて念願の「有屋おたすけ会」を発足することができました。その過程を紹介いたします。



①

地域の健康教室に
行きたいけれど
歩いていくには
しんどいなあ…



送ってあげたいけれど
ケガとかも怖いな…
心配だな…

有償ボランティアで
解決できるかも！

②

平成30年10月

住民を集め、県内の事例で勉強会

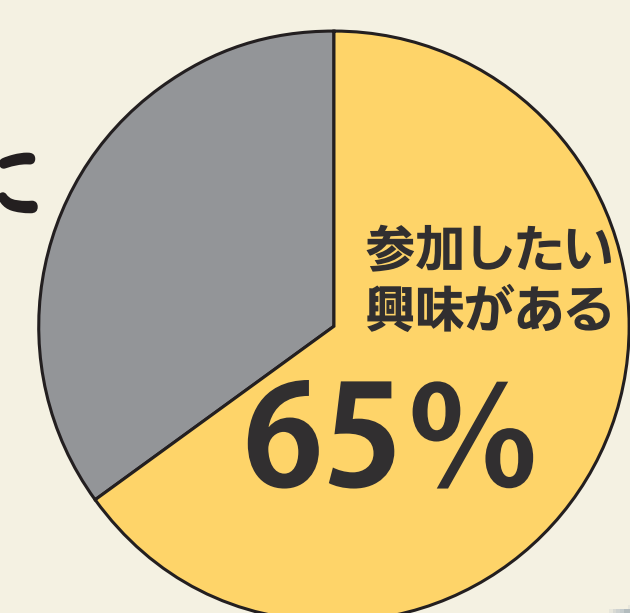


③

平成30年11月

住民約500世帯にアンケート配布
→229世帯から回収できました。

その内、
有償ボランティアに
参加したい・
興味があると
回答した人は…



④

令和元年10月～令和2年7月

1～2か月に1回、説明会を開催（計6回）
参加したい!と記載した人に呼びかけて、
説明会を開催しました。



住民の皆さんから
積極的なご意見が

気持ちの
変化

・ケガをさせたらどうするの?
・お金をもらうのは心苦しい…

・保険のことを勉強
・できる人ができることをしよう
・少額のお金を支払ったほうが
続きやすい。

・とりあえずやってみよう
・困っている人がいるので
あれば、お手伝いしたい。

⑤

令和2年8月13日

有屋おたすけ会、発足!

4月に予定していた「発会式」でしたが、
コロナ禍で延期…
やっとの思いで開催しました。



【ボランティア活動の様子】

【作成】奄美市 高齢者福祉課 生きがい推進係

鹿児島県奄美市名瀬幸町 25-8 電話:0997-52-1111 FAX:0997-57-6252

→シンボルマークは
「かたつむり」
のんびりすすみながら
やっていこう!と決意